企業調査レポート

グリッド

5582 東証グロース市場

企業情報はこちら >>>

2026 年 11 月 18 日（水）

執筆：フィスコアナリスト
山本泰三
FISCO Ltd. Analyst **Taizo Yamamoto**

FISCO Ltd.
https://www.fisco.co.jp

社会インフラ特化 AI 企業、1Q 決算は想定通りで株価にアップサイドポテンシャル

グリッド <5582> は、電力、海運、鉄道などの社会インフラ分野に特化した AI ソリューション企業である。独自の AI フレームワーク「ReNom」を基盤に、需要予測、シミュレーション、数理最適化を統合し、電力需給、配船、運行などの複雑な計画業務を高度化・自動化する。インフラ領域に精通した人材、高度な最適化技術、大手企業での導入実績を強みに、AI エンジンの開発からシステム構築、運用・保守までを一貫して提供している。近年は、AI と蓄電池アセットを組み合わせた系統用蓄電所の開発・売却にも取り組んでおり、AI 事業に続く第 2 の成長ドライバーとしてインフラアセット事業の拡大を進めている。

1. 2026 年 6 月期の業績概要

2026 年 6 月期業績は、売上高 3,119 百万円（前期比 51.2% 増）、営業利益 459 百万円（同 7.3% 増）となり、営業利益ベースで 6 期連続の増収増益を達成した。AI 事業では電力、都市・交通の両ドメインが伸長し、既存顧客との取引拡大によって顧客平均売上も増加した。インフラアセット事業は、蓄電所開発の本格化と電力系統接続申請支援の寄与により、売上高が前期比 12.7 倍に拡大した。一方、事業構成の変化に加え、人員増強、研究開発、本社移転などの先行投資により営業利益率は低下した。フリー・キャッシュ・フローはマイナスとなったものの、自己資本比率は 83.5% と高水準を維持しており、財務の健全性に大きな懸念はない。

2. 2027 年 6 月期の業績見通し

2027 年 6 月期通期業績は、売上高 4,500 百万円（前期比 44.3% 増）、営業利益 600 百万円（同 30.6% 増）と、大幅な増収増益を計画している。AI 事業は全ドメインで案件拡大を見込み、売上高 3,000 百万円（同 27.0% 増）を予想する。案件パイプラインは 33.2 億円に達しており、そのうち受注済みの開発案件と運用保守案件が 16.0 億円を占める。インフラアセット事業も、前期受注案件の進捗と新規案件の売上計上により、売上高 1,500 百万円（同 98.3% 増）を見込む。人件費や外注費は増加するものの、増収効果と AI 事業の生産性向上によって吸収する計画である。

なお、第 1 四半期は蓄電所開発案件の大型資材納入時期の影響を受け、売上高と営業利益が一時的に低水準となる見通しと事前に示していた通り、11 月 16 日に発表された決算は、売上高で前年同期比 31.1% 増の 790 百万円、営業利益で同 81.6% 減の 21 百万円となった。売上計上時期のずれによるものであり、同社は通期業績への影響を限定的と捉えている。インフラアセット事業では、第 1 四半期売上高 190 百万円と同期末受注残高 913 百万円で通期計画 1,500 百万円の約 7 割を確保し、11 月には約 5 億円の蓄電所開発を大口受注した。AI 事業は、期初時点で事業計画の達成に必要な規模の案件パイプライン 33.2 億円を確保し、売上リピート率は 3 期連続で 85% 以上を維持、プロジェクト数も前年同期の 36 件から 46 件へ増えた。下期には電力分野を中心とする大型案件の計上を予定する。前期も売上高、各段階利益とも計画を上回って着地しており、通期予想の達成が期待される。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

3. 中長期の成長戦略

同社は中長期的に、AI 事業とインフラアセット事業を成長の両輪とし、社会インフラを支える次世代の意思決定基盤となることを目指している。AI 事業では、既存顧客へのアップセルやクロスセルを進めるとともに、送配電、海運、航空、自動車、鉄道周辺領域へ適用範囲を広げる。加えて、生成 AI や量子関連技術の活用、M&A・資本業務提携を通じた事業基盤の強化を進める。インフラアセット事業では、特別高圧案件への展開に加え、AI を活用した蓄電所運用支援や自社保有モデルも視野に入れている。

現在、今後 3 年間を対象とする中期経営計画を策定中であり、蓄電所開発を中心に複数の成長シナリオを検討しているが、同社では 2029 年 6 月期までの成長イメージとして、売上高で年平均 25%、セグメント利益で同 30% の成長を示している。AI 事業は、2027 年 6 月期に売上高 3,000 百万円（前期比 27.0% 増）を計画し、その後も売上高・利益の大半を占める主力事業として成長を牽引する。インフラアセット事業は、2027 年 6 月期の売上高を 1,500 百万円（同 98.3% 増）と見込み、新規案件の計上も加わる。保有する開発権利を活かし、開発予定容量を 2029 年 6 月期に 400MWh（2027 年 6 月期 67MWh）へ拡大させ、特別高圧の大型案件の契約締結を目指す。具体的な数値計画は、資本効率や企業価値向上の観点から各シナリオの確度を見極めて公表する方針だ。

4. 株価

中長期の業績を元にした株価については、策定中となる中期経営計画を待つことになる。AI 関連と比較した今期予想 PER は 18 倍と下限となっており、上値余地を見出せる。あくまでも試算ということになるが、これまでの実績から無理のない売上高を 8,000 百万円、営業利益率を 13% と置いた場合、PER15 倍でも時価総額は 100 億円を上回る（現在 72 億円）。繰り返しとなるが、上値余地の見極めは策定中となる中期経営計画を待つことになるものの、保守的に見積もっても株価はアップサイドポテンシャルが見込める局面であり、高成長確度の高まりから PER が切り上がれば、さらなる上値余地を見出せることになる。また、第 1 四半期決算で過剰に下へ反応した現状の株価の動きにも注目しておきたい。

Key Points

- 社会インフラに特化した計画最適化 AI で独自の競争基盤を構築
- 蓄電所開発が第 2 の成長ドライバー、自社保有モデルも検討
- 2027 年 6 月期は大幅増収増益を計画。1Q は期初想定の範囲内で着地、下期の大型案件計上で通期計画達成を見込む
- AI の適用領域拡大と特別高圧蓄電所への展開が中長期成長をけん引
- 株価にはアップサイドポテンシャル

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

FISCO

重要事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■
〒 107-0062 東京都港区南青山 5-13-3
株式会社フィスコ
電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）
メールアドレス：support@fisco.co.jp